

# 薬はリスク

しくじり症例共有

2022/08/03 PCLS

宇都宮協立診療所 所長代行

宇都宮家庭医療・在宅医療センター

家庭医療専門医 & 総合診療専門医PG指導医

武井 大

# メトトレキサート

- 78歳 女性
- 皮膚軟部組織感染症/緑膿菌尿路感染症/CD感染後
- ADL低下で訪問診療開始
- **関節リウマチ**：PSL5mg、アセトアミノフェン
- 低Alb血症：フロセミド、スピロノラクトン
- 肝硬変（Child-Pugh分類A）
- 糖尿病：DPP4I、メトホルミン、レパグリニド
- 神経因性膀胱：カテーテル留置
- Cre0.76mg/dL

- 訪問診療開始後に下肢腫脹、発赤、疼痛再燃。
- CEX投与などで症状改善乏しい。
- 高次医療機関紹介でDVTと皮下膿瘍は否定。
- 嘔気嘔吐（メトホルミン減で後日改善）と発熱で高次医療機関紹介。
- RAに伴う関節炎増悪での発熱の判断でMTX6mg開始、葉酸併用。
- 2か月後、MTX8mg（分2）に増。
- 貧血緩徐に進行。WBC,PLTは維持。
- ネフローゼ症候群もあり腎内紹介で腎生検で糖尿病性腎症診断。
- 腹水貯留少量確認、Cre1.0mg/dL

- 初診から10か月後にMTX10mg（分2）増。
- Cre1.13mg/dL、 eGFR36.1mL/min
- 1か月後、嘔吐血便で往診
  - WBC 9000→3900/ $\mu$ L
  - RBC 284 →135万/ $\mu$ L
  - Hb 8.4 →3.8g/dL
  - PLT 27.7 →3.3万/ $\mu$ L
- 高次医療機関で紹介入院加療で改善。

# MTXによる骨髄障害

## 【危険因子・誘因】

- 腎機能障害
- 高齢
- 葉酸欠乏
- 多数薬剤の併用
- 低アルブミン血症
- 脱水（発熱，摂食不良，嘔吐・下痢，熱中症）

# MTXによる骨髄障害

## 【危険因子・誘因】

- 腎機能障害
- 高齢
- 葉酸欠乏
- 多数薬剤の併用
- 低アルブミン血症
- 脱水（発熱，摂食不良，嘔吐・下痢，熱中症） + 利尿剤

- 【投与禁忌】
- 妊婦（計画のあるもの含む）、授乳婦
- 本剤成分に対して過敏症の既往
- 重症感染症を有する
- 重大な血液、リンパ系障害を有する
- 肝障害を有する；  
ウイルス性肝炎、肝硬変その他重大肝障害
- 高度な腎障害を有する；  
透析患者や腎糸球体濾過量（GFR） $<30$  mL/分/1.73m<sup>2</sup>に相当
- 腹水、胸水が存在
- 高度な呼吸器障害

- 【投与禁忌】
- 妊婦（計画のあるもの含む）、授乳婦
- 本剤成分に対して過敏症の既往
- 重症感染症を有する
- 重大な血液、リンパ系障害を有する
- **肝障害**を有する；  
ウイルス性肝炎、**肝硬変**その他重大肝障害
- 高度な腎障害を有する；  
透析患者や腎糸球体濾過量（GFR） <30 mL/分/1.73m<sup>2</sup>に相当
- **腹水**、胸水が存在
- 高度な呼吸器障害



# Take Home Messages

- Multimorbidity、 Polypharmacy状態の高齢者の処方管理は個別の吟味が大切。 with attention to detail
- 高次医療機関からの処方も再度吟味。
- 下降期であることを意識して、投薬禁忌や危険因子リストを眺めながら時間経過での評価を大切に。

# レボフロキサシン

- 70歳 女性
- 高血圧、脳出血後遺症などで長年通院。
- 2年前に胸部大動脈瘤確認も手術希望せず専門診療科で定期フォロー。
- 軽症肺炎の診断で外来でLVFX処方開始。
- 9日目に大動脈瘤定期受診時に緊急入院。

# 急性Stanford A型大動脈解離

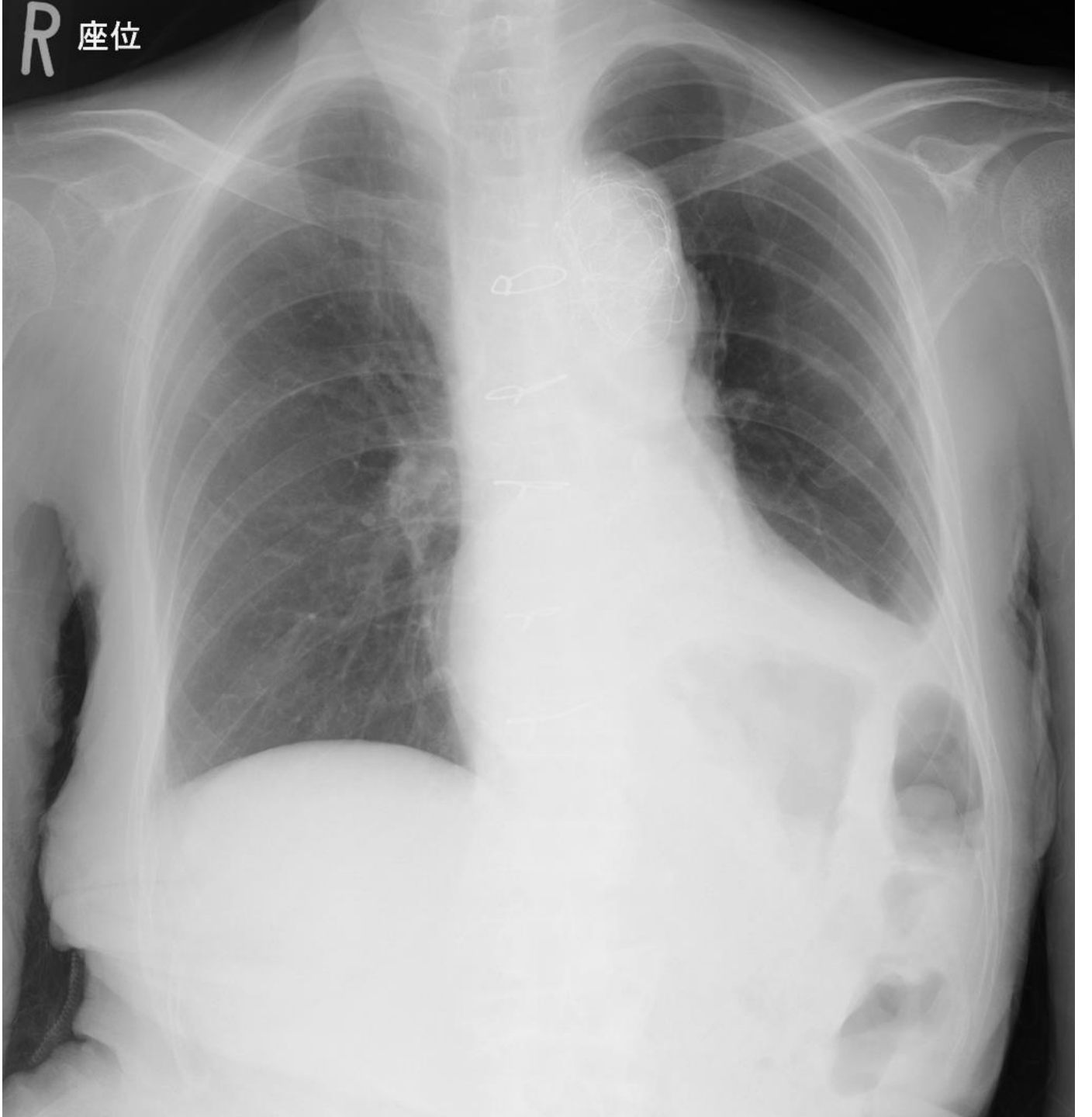
- 上記診断で、上行弓部大動脈置換術＋ステントグラフト内挿術＋大動脈弁置換術実施。
- 状態回復し、術後当院転院。在宅復帰目指したが、ADL低下もあり施設入所。

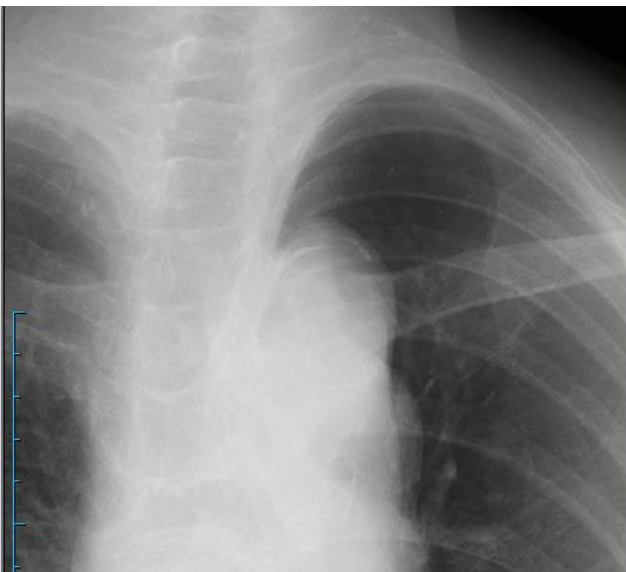
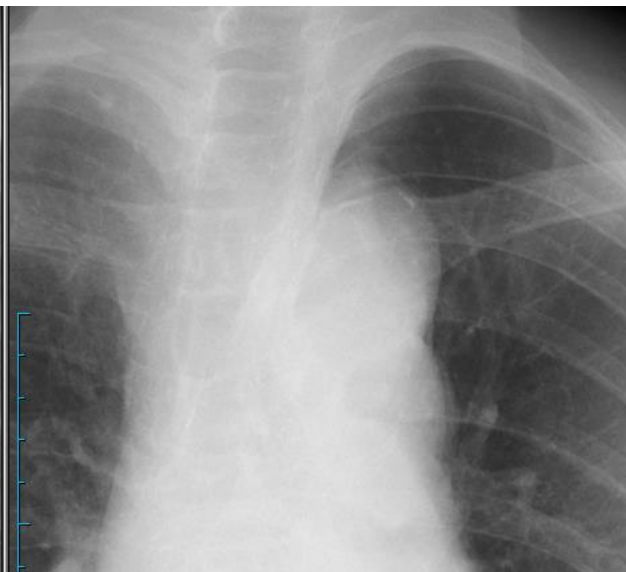
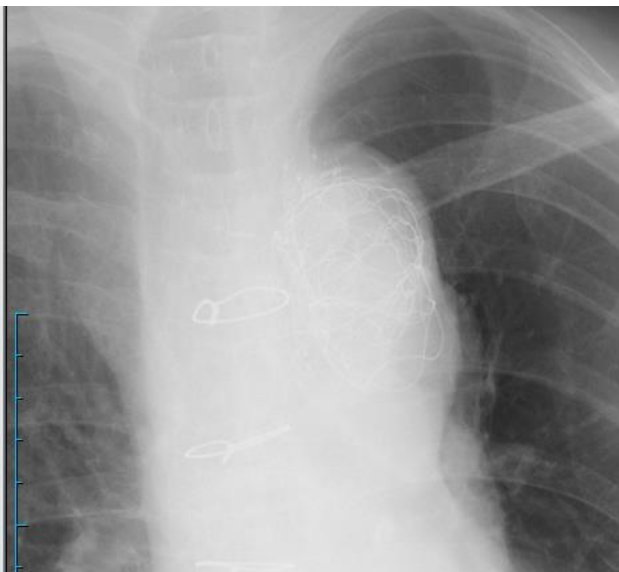
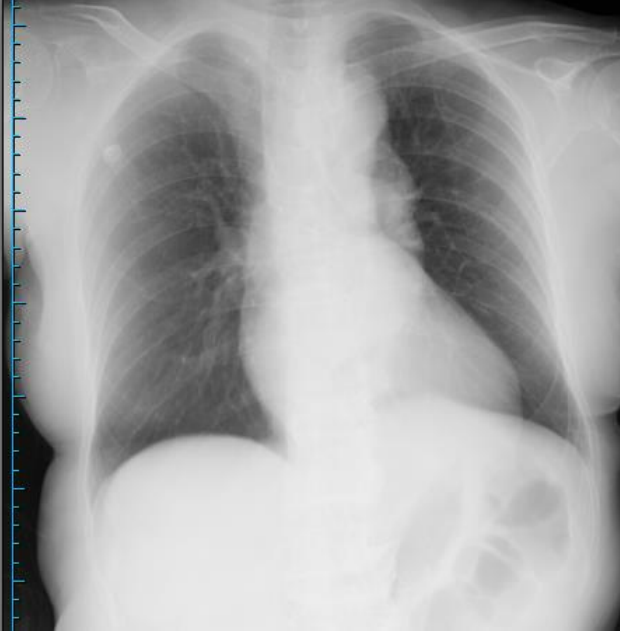
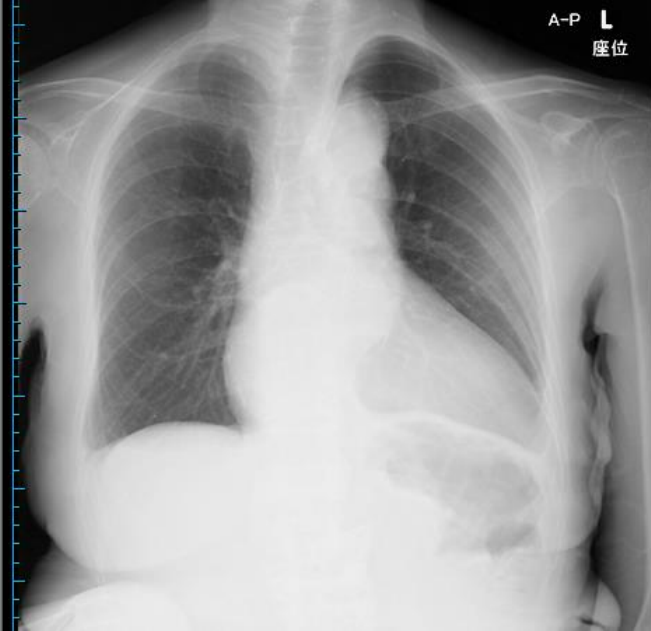
# レボフロキサシンと大動脈瘤

<添付文書では>

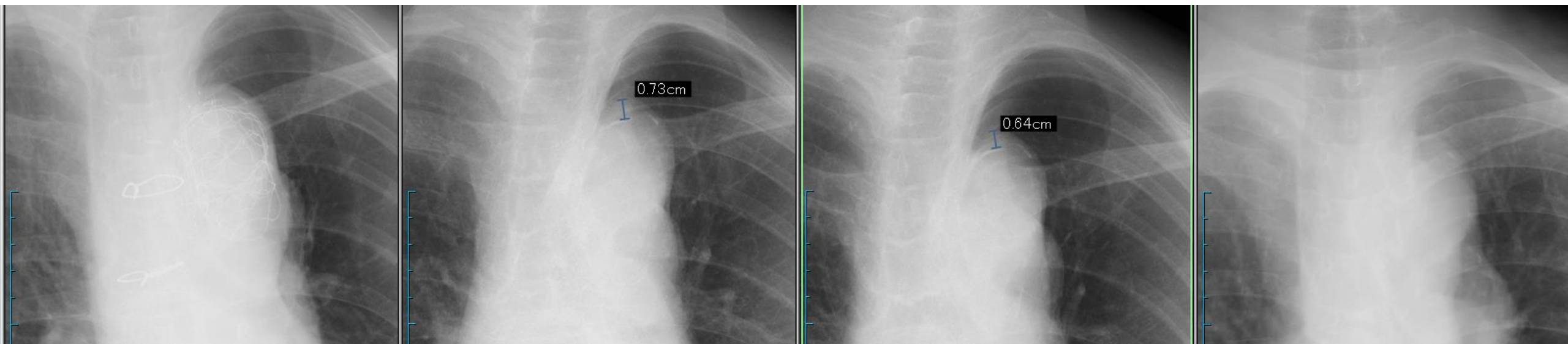
1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

（6）大動脈瘤又は大動脈解離を合併している患者、  
大動脈瘤又は大動脈解離の既往、家族歴  
若しくはリスク因子（マルファン症候群等）を  
有する患者









calcium sign ?

10mm超えないけど、5mmという報告もある。

# Take Home Messages

- ニューキノロン 使う必要あるのか考えよう。



# 自己紹介

自治医大卒 2001/3

都立府中病院 初期研修

都立清瀬小児病院 総合小児科研修

小笠原村診療所 父島

都立清瀬小児病院 小児循環器科

三宅村中央診療所 三宅島

都立多摩総合医療センター ER

都庁勤務兼任

宇都宮協立診療所 2010/4～





有床！

大谷地域まで車で10分。



「地域のかかりつけ医」

小児から高齢者まで診察する診療所  
在宅支援診療所として  
在宅医療にも取り組んでいます。



栃木県宇都宮市（約51万人）の北西部、宝木地域。  
市内で最も古い（らしい）公営住宅に囲まれた所。

SVS シートの活用

外国語対応

職員の補充

いまの活動を継続し続ける

収益確保

相談ダイヤル設置

「診療所に来ればどうにかなる」

まちのたまり場

みつける、かかわる、どうにかする！

相談機能強化

行政との関係強化

知名度 UP!!

地域と歩む診療所





# 専門研修（後期研修医・専攻医）



独立行政法人国立病院機構

## 栃木医療センター



## 2023年度 総合診療プログラム 後期研修医募集要項(2022.4.13更新)

- 2023年度の内科プログラム新規募集はありません。総合診療プログラムのみの募集となります。  
ご不明な点は、下記までお問い合わせください。

ご清聴ありがとうございました。

